



市立函館博物館 学芸主査 尾崎 渉 さん

函館はかつて貨物船の外国航路の船員が多く活躍していた時代があります。昭和30～50年代頃まで、南米や台湾などから珍しい動物の剥製ほくせいをお土産に持ち帰ったようです。それが寄贈され、今回「どうぶつ園」を企画しました。たくさんの方にご覧いただきたいです。

ココノオビアルマジロ



タイワンセンザンコウ



トド



# 地元が感動し

表紙：雪の五稜郭公園（函館市）

目次：北海道の歴史とともに歩んできた市立函館博物館

裏表紙：「博物館のどうぶつ園」に展示中のお土産用ポーズのメガネカイマン（メキシコ南部から南アメリカ北部に生息）



キングコブラとマングース

アカウミガメ



# 函館宝ものめぐり



コモドオオトカゲ

## 北方民族資料館

「アイヌ風俗12ヶ月屏風」に囲まれて、館長の村井博明さんから北方民族の世界についてお話しを聞きました



JR東日本「四季島」ツアーに組み込まれている特別のおもてなしも体験

2017年11月3日、3回目となる文化の日企画「西部文化施設3館ツアー」が28人の地域住民を対象に実施されました。訪れたのは、旧函館区公会堂・北方民族資料館・文学館の3館。参加者は、「地元なのに初めて。説明を聞いて感動した」「本州から来た友人の方が詳しく函館を知っていて恥ずかしかった。今度は大丈夫」「改めて地域の歴史や文化に触れて楽しかった」など、地域の宝ものを探し当てたようでした。



# てこそ

## 文学館

石川啄木座像の石膏原型を前に館長の福原至さんから啄木と函館の関わりを聞きました



## 旧函館区公会堂

函館に移り住み30年以上の函館観光ボランティア一會の会長<sup>いちえ</sup>の佐藤喜久恵さんから魅力たっぷりの説明がありました

